

日本品質管理学会 第121回クオリティトーク開催のご案内

1997年からクオリティパブとして年5～6回開催し、クオリティトークと名称を改め回を重ねて100回を超えました。品質管理のみならず広く経営に関するホットなテーマについて、最先端の実務で活躍される著名ゲストのお話を伺ったあと討論し、会員の親睦と自己研鑽をはかります。

今回のゲストスピーカーには、高橋 勝彦 氏(広島大学)をお招きし、「顧客価値創造のために、多様性と効率性を共に高める生産管理へ！」をテーマにお話しいただきます。

新型コロナウイルスによる肺炎感染の影響を鑑み、Zoom会議室を利用してオンラインで開催いたします。多数のご参加をお待ちしています。

記

日 時：2021年1月28日(木) 18:00～20:00

会 場：Zoom 会議室 (オンライン)

テ ー マ：顧客価値創造のために、多様性と効率性を共に高める生産管理へ！

ゲ ス ト：高橋 勝彦 氏 (広島大学大学院 先進理工系科学研究科 教授)

聞きどころ：今や企業の発展のためには顧客価値創造活動が欠かせません。その実現には、製品・サービスの機能や品質だけでなく、提供する際のコストや納期の要求に応えられるかが重要であり、製品・サービス開発と同時に、コストや納期の水準を常に高め続けていくことが求められます。

生産管理は、顧客価値に関係するQCDの中でも、コストと納期への要求に応えるための生産方式とその計画管理の最適化を目指しています。すなわち、どのような種類の製品を生産するかという多様性と、同じ製品をどの程度の量だけ生産するかによって影響する効率性の追求です。

従来、相反する多様性と効率性のいずれかを重視する生産方式、あるいはそれらの均衡を図る生産方式、効果的な計画管理などが考えられてきましたが、近年では、顧客要求の高度化・複雑化、市場・サプライチェーンのグローバル化によって、それだけでは十分とはいえなくなってきました。

そこで今回は、最新JSQC選書『生産管理—多様性と効率性に応える生産方式とその計画管理』の著者 高橋勝彦氏にご登壇いただき、次のポイントを解説していただきます。

- 1) 生産管理に関する基本的な生産方式とそのための計画管理
- 2) マスカスタマイゼーションといった多様性と効率性を共に高める高度化された生産管理
- 3) IoT、CPS、AI など急速に発展する ICT の活用によって期待される、超高度な生産活動への進化

今後更に重要性を増すであろう生産管理の現状と今後について学べる、この機会をぜひお見逃しなく！

参加費：会員 ¥2,200 非会員 ¥4,400 準会員 ¥1,100 学生 ¥2,200
(税込) ※参加費は、開催日前日までにお振込みください。

申込方法：ホームページからお申し込みください。

<http://www.jsqc.org/q/news/events-list.html>

お知らせ：継続的専門能力開発 (CPD) の実績を証明いたします。それぞれの機関の様式に従い、記入済みの書式と本人であることが確認できる書類を前日までに郵送または PDF ファイルでお送りください。終了後、こちらから PDF ファイルで返送いたします。

手数料：会員：無料 賛助会員：5名まで会員扱い 非会員：1通につき 1,000円